

カリフォルニアエネルギー委員会 省エネルギーの達成

1975年以来、カリフォルニア州エネルギー委員会は、主にカリフォルニア州の1人当たり電力消費を比較的安く抑えることに寄与した新しい建物および家電製品省エネルギー基準を採用することによって、州の電力および天然ガスの需要を削減する責任を負っています。

これらの基準は、既存の建物のエネルギー消費を削減するエネルギー委員会のプログラムと相まって、エネルギー消費と温室効果ガス（GHG）排出を削減し、カリフォルニアでクリーンエネルギー雇用を創出しています。

主要省エネルギー基準：居住用および非居住用の建物

3年ごとに、エネルギー委員会は、技術的および経済的に実現可能な新しい建物の設計、建設、および運営のための最小効率基準を設定します。建物省エネルギー基準は、1978年に最初に採択され、利害関係者の意見を募集し、提案された効率化対策に関する合意に達するための公的プロセスを通じて開発されました。

いったん開発されると、エネルギー委員会は、ステークホルダーと共に、最新の基準、コンプライアンスアプローチとソフトウェア、および家庭用エネルギー評価システム（HERS）と非居住受入れテストを使用した検証プロトコルと手順について、請負業者、建築業者、建築家、コンサルタントを訓練することを含む作業の実施を続けます。

また、エネルギー委員会は、消費者が正確かつ

タイムリーな情報を入手できるように、広い公表の対象となる教育とアウトリーチに取り組んでいます。さらに、エネルギー委員会は、オンラインリソースとツールを提供することによって、地域の建物部門のコンプライアンスと施行をサポートしています。

カリフォルニア州の主要建物省エネルギー基準は、新しく建設されたすべての低層住宅が2020年までにZNEに、2030年までにすべての新しい商業用建物をゼロ・ネット・エネルギー（ZNE）にする目標を達成することに近づいています。建設業界の建築慣行の決定的な変更であり、エネルギーとコストの節約とGHG削減の機会を提供します。州のZNEの目標は、カリフォルニア州民にとって大きな前進ですが、建物から得られるエネルギーとコストの削減は温室効果ガス削減のほんの一部に過ぎません。

主要省エネルギー基準：家電製品

エネルギー委員会は、連邦省エネルギー基準でカバーされていないすべての新しい家電製品の省エネルギー基準を作成することを義務付けられています。これらの基準を策定するために、エネルギー委員会は、製造業者、業界団体、省エネルギーの主張者、およびその他の利害関係者からの情報を求めています。新しい家電製品の省エネルギー基準の範囲についてのコメントを求めるために、公のワークショップが開催されています。エネルギー委員会は、コンプライアンスとラベリングの要件を確実にするための家電製品テスト手順を開発し、これらの規格でカバーされる家電製品の効率について消費者に知らせます。

承認されると、それらは州の家電製品省エネルギー・データベースに含まれます。このデータベースには、エネルギー委員会が現在の基準を満たしていると認定したすべての機器のリストが含まれています。コンプライアンスを確実にするために、エネルギー委員会は小売業者間の全州調査を実施し、連邦および州の省エネルギー基準を満たさない家電製品を販売する小売業者へ罰金を課する権限を有しています。

カリフォルニアの家電製品省エネルギー基準は、建物のエネルギー消費を削減し、カリフォルニア州の資金を節約し、温室効果ガスの排出を削減するために非常に重要です。例えば、家電製品は建物で消費される電気の半分以上を使用しています。したがって、カリフォルニアがZNE目標に達するには、これらのプラグ負荷の消費を削減する必要があります。

カリフォルニアの既存建築物の更新

省エネルギー対策は、新世代のリソースやインフラへの投資に対する低コストの代替手段です。エネルギー委員会は、既存の建物のための総合的な省エネルギープログラムを開発し実施する権限を持っています。これらの活動の一部は、既存建物の省エネルギー向上市場を拡大するために導入されています。

例えば、既存の一世帯および多世帯の家庭でのエネルギー消費を削減するために、エネルギー委員会は住宅所有者に適切で訓練された家庭エネルギー監査員を派遣するためのHERSプログラムを作成しました。エネルギー委員会は、HERSの評価者とも呼ばれる家庭エネルギー監査員を訓練し、認定する第三者のHERS提供者を承認、規制、監視します。これらの評価者は、一世帯および複数世帯の家庭についてエネルギー監査を実施しています。さらに、HERSの評価者は、新しい住宅用建物の検証と診断テストを実施

し、最新の建物省エネルギー基準への適合を保証します。

エネルギー委員会はまた、5,000平方フィート以上の非居住者用建物のエネルギー利用の開示を管理しています。このプログラムは、建物のエネルギー消費量にアクセスして分析するために、販売、リース、ファイナンス、または借り換えの期間中に非居住者の建物所有者を許可し、建物の所有者が省エネルギーの向上を追求するよう促します。

さらに、エネルギー委員会は、さまざまな省エネルギー・インセンティブ・プログラムを管理しています。省エネルギー化融資制度は、費用効果の高い省エネルギー化やクリーンエネルギー・プロジェクトの導入について、地方政府、学校（K-12）、公共機関（病院を含む）に低金利ローンを提供するリボルビングローンです。プロジェクトを支援するために、エネルギー委員会ブライトスクール・プログラムとエネルギー・パートナーシップ・プログラムは、学校（K-12）、地方公共団体、公共機関のエネルギー効率を高めるためのエネルギー監査やその他の技術援助を提供しています。

最後に、エネルギー委員会は、地方教育機関に省エネルギー向上とクリーンエネルギー・プロジェクトのための助成金を提供することによる、提議39条（学校（K-12）のクリーンエネルギーJOBS法プログラム）を実施する主導的な管理者です。

カリフォルニアの既存建築物の省エネルギー向上を促進する活動にもかかわらず、この市場を成長させ、深く費用対効果の高いエネルギー効率アップグレードを達成するためには、さらなる政策と行動が必要です。これらの方針と行動には、資金調達プログラム、より多くの公的支援、教育、カリフォルニアが気候とエネルギー目標を達成するのに役立つ追加のエネルギー節約を得るためのその他の活動が含まれます。

Edmund G. Brown Jr.
Governor

Robert B. Weisenmiller, Ph.D
Chair

Drew Bohan
Executive Director

Commissioners
Karen Douglas, J.D.
David Hochschild
J. Andrew McAllister, Ph.D.
Janea A. Scott, J.D.



CALIFORNIA
ENERGY COMMISSION

energy.ca.gov | facebook.com/CAEnergy | twitter.com/calenergy